

平成 22 年度 亀田郷管内土地改良事業計画

1. 県営事業

単位：千円

事業名	地区名	開始年度	施設名	事業量	工事内容	事業費
地盤沈下対策事業	新潟南部期5	H15～	沢海揚水機場	1式	旧構造物撤去、連絡水路仕上げほか	236,800
			袋津(上流部)排水路	274m	護岸工	
	新潟南部期7	H19～	阿賀幹線用水路	1式	護岸工、護岸工仕上げ	296,214
			亀田(上流部)排水路	150m	護岸工	
流域水質保全機能増進事業	新潟南部期8	H21～	阿賀幹線用水路	1式	測量設計	19,500
	亀田郷第2	H22～	清五郎排水路	1式	付帯工	68,400
			海老ヶ瀬排水路	90m	護岸工	
計						630,664

2. 団体営事業

単位：千円

事業名	地区名	開始年度	施設名	事業量	工事内容	事業費
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	亀田郷	H20～	荒所排水路	446m	排水フリーム	24,000
			大曲排水路	1式	測量設計	
地域水ネットワーク再生事業	亀田郷	H20～		1式	冬期ソフト環境用水ソフト	6,000
国営造成施設管理体制整備促進事業	阿賀野川左岸	H20～		1式	強化支援	18,700
維持管理適正化事業			前田排水路	111m	排水フリーム	5,000
計						53,700

平成22年度 管内事業内容

〔県営事業〕
 県営事業は、総額6億3066.4万円、地盤沈下対策事業、流域水質保全機能増進事業の2事業を実施します。
 地盤沈下対策事業は、新潟南部5・7・8期地区で汎海揚水機場の旧構造物撤去するほか、阿賀幹線用水路、亀田(上流部)排水路、袋津(上流部)排水路の整備・測量試験を5億5251.4万円で行います。
 流域水質保全機能増進事業は、亀田郷地区及び亀田郷第2地区で清五郎排水路、海老ヶ瀬排水路、大曲排水路の整備・測量試験を行います。

〔団体営事業〕
 団体営事業は、総額5370万円、地域農業水利施設ストックマネジメント事業、地域水ネットワーク再生事業、国営造成施設管理体制整備促進事業、土地改良施設維持管理適正化事業の4事業を実施します。
 地域農業水利施設ストックマネジメント事業は2400万円、荒所排水路の整備と大曲排水路の測量設計を行い、施設の機能維持を図ります。地域水ネットワーク再生事業は6000万円、冬期ソフト環境用水ソフトの導入を行います。



(平成21年度)県営かんがい排水事業による清五郎排水路の整備

等々を7815万円で行います。

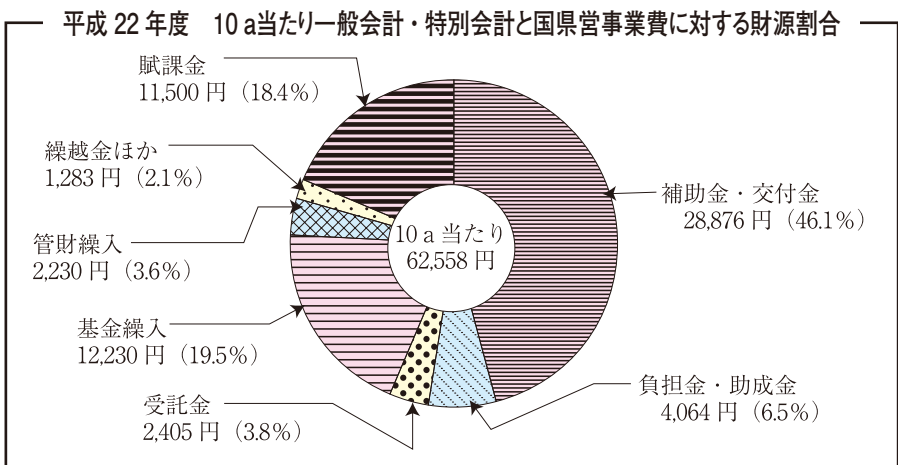
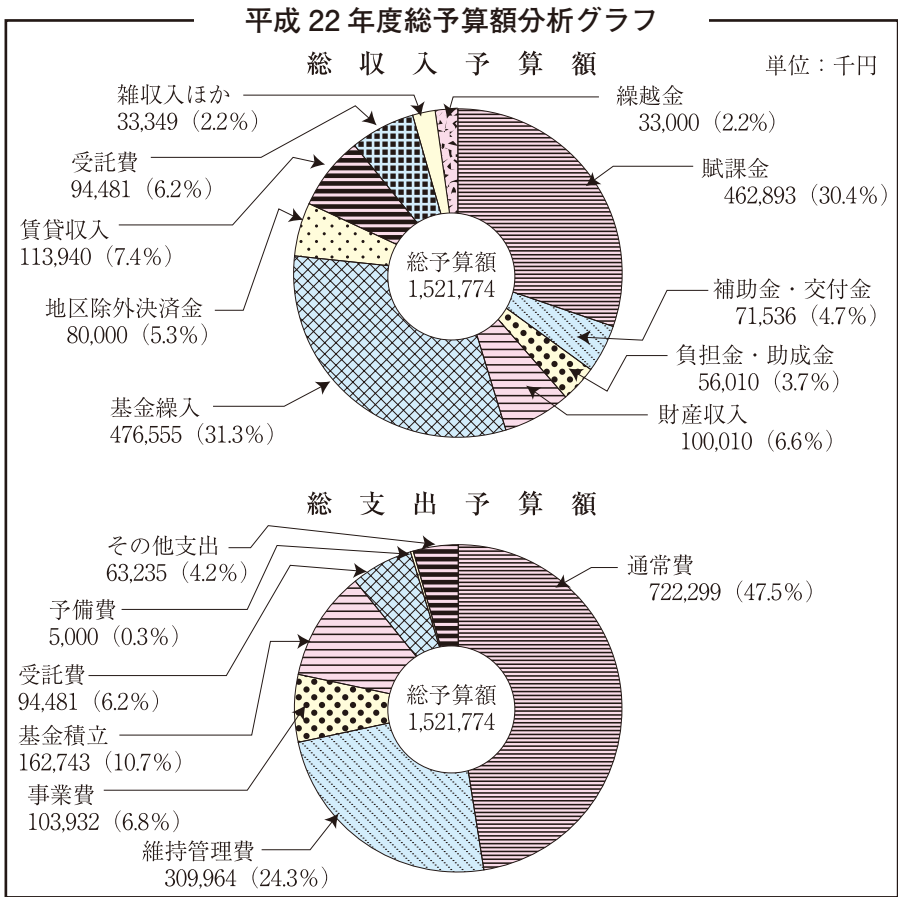
生事業は6000万円、環境用水のエリア拡大に向けた調査及び「冬期湛水田」実施に向けた調査対策を実施します。

平成22年度より3期目に入る国営造成施設管理体制整備促進事業は1870万円、施設の多面的機能及び管理体制の強化を継続して推進します。

土地改良施設維持管理適正化事業は5000万円、前田排水路の整備を行います。

〔その他事業〕
 その他の事業として、新潟県単独事業の新潟

県単独農業農村整備事業(平成21年度繰越)で下早通地区の用水路を1530万円、整備するほか、新潟市単独事業の新潟市農業土木支援事業による各区施設の整備とエコ水路促進事業による水路溝畔の環境向上対策を実施します。



平成 22 年度 賦課金 10 a 当たり 一万一五〇〇円に据置き

平成22年度の賦課金につきましては、新年度予算の編成にあたり総務部会・理事会での審議を経て、経常費の削減と財政調整基金の充当により、据置き10 a 当たり1万1500円に決しました。

また、農地転用に伴う決済金額についても、10 a 当たり65万円に据置きしました。

平成22年度一般会計予算額は、12億8344万円(平成21年度15億3301万円)と前年度比にしますと16.3%減りました。これは主に国営かんがい排水事業の負債償還が終了したこと、新たな

水管理システムの完成に伴う中央管理所の維持管理費の低減によるものです。

また、特別会計(管財特別・決済金特別・環境水利活用)と併せた平成22年度総予算額は、15億2177万円(但し、会計間の繰入、繰出は除く)です。

主な収入財源は、賦課金30.4%、公的助成金8.4%、基金繰入31.3%です。これに対する主な支出は、経常費47.5%、維持管理費24.3%、事業費6.8%、受託費6.2%です。

なお、平成22年度一般会計・特別会計と国県営事業費に対する財源割合は、

一般会計予算財源分析

費目	支出予算		財源分析 (10 a 当たり)	
	金額(千円)	割合	10a 当たり(円)	賦課金(円)
経常費	699,379	54.4%	17,802	10,450
財産費	20,668	1.7%	526	0
維持管理費	369,964	28.8%	9,417	1,767
(事業)	(258,442)	(22.2%)	(7,266)	
事業費	17,000	1.3%	433	172
県営事業分担金	72,932	5.7%	1,857	0
県営附帯事業	5,000	0.4%	127	0
受託費	94,481	7.4%	2,405	0
負債償還	20	0.0%	0	0
繰出金	4,000	0.3%	101	0
小計	1,283,444	100.0%	32,668	12,389
収入	△ 34,930		△ 889	△ 889
計	1,248,514		31,779	11,500

*立替金は経常費を含む
 *財産費のうち財産取得費は、経常費。基金積立金は、財産費。

平成 22 年度 予算概要

平成22年度の賦課金に
 つきましては、新年度予算の編成にあたり総務部会・理事会での審議を経て、経常費の削減と財政調整基金の充当により、据置き10 a 当たり1万1500円に決しました。

管事業費を賦課面積で割りますと、10 a 当たり6.2万円の投資額となり、これに当てられる賦課金の割合は18.4%です。